

六月三日

七時起床。チョツと本を読んで屋上菜園に上る。日々菜園は表情を変えるな。鬼沼から持ち帰った名も知らぬ草花に水をやる。一日休めれば種をまけるのにな。梅雨前にやらなくては。朝顔は屋上では日当たりが良過ぎるのかな。もうすぐ百合が咲くよ。地下で図面チェックして九時前家を出る。途中安田金物のオヤジさんが閉店した店の前で何やらしていたので声を掛けメシを近々一緒にしようということにした。彼はもつと働きたいんだろな。十時前大学学部レクチャー準備。今日は集合住宅についてネクススの仕事を介して話してみる。N棟Gスタジオの連中に頼んでいたコンバーションのプロジェクトが仲々良いではないか。見直した。使えば、やるんだナア。中国の仕事条件が良くなってきたのでやってみようか。

十七時配島一弘氏来室。色々とお願ひする。長く附合える会社になると良い。時々会ってみたい人物だ。フツと思ひ付いて一九八二年のバラック浄土を読んでみる。ズーツとあきもせず同じ事を言い続けていると我ながら思う。進歩が無いと言えればそれまでだが、表現形式には揺れがあるが、中枢はぐらつてはいない。中小工務店連合を作りたいんだよね本当は。職人連合は不可能であるにしろ、せめて弱小工務店連合はナア。

六月四日

朝顔とさやえんどうの種をまく。屋上菜園にうづくまっつて見ると、絶景である。今が一番かも知れぬ。地面、マ屋上だから地面じゃないから、土だな、その土に近づいて草花を見る楽しさがあるね。フツと思ひついて、デジタルハリウッド社から出版した「建築家、突如雑貨商となり、至極満足に暮らす」読み直してみる。自分で自分の本を読み直すくらい馬鹿な事はないが、面白く読めた。この面白さは何かなと思う。自分に対する距離感だろな。

十二時前大学日常生活用品のページが動いていた。動かし続けるにはエネルギーが必要だが、やってみる価値はある。Gスタジオオ二点程良いものが出てきた。ほつとする。早速インターネットにプレゼンテーションする段取りをする。オープンテックハウス#2渡辺さんよりメール。今年の3月に突然道路計画(三〇年前の)が降つて湧いた様に立ち上り大深度工法により地下四〇メートルに都の基幹道路が計画されていて、渡辺さんの家の辺りにインターチェンジが出現するかも知れぬのだと言う。それは心配だろつし、怒るのも無理はない。どのように対応できるのか調べてみると手紙を書く。淡々とした日常生活を送る住宅地にいきなりダムを造ってしまうような事だコレワ。簡単に建設が許される訳がない。野村に調査を依頼した。中国の仕事N棟にも参加させる事にして、今、海日汗のレクチャーを彼等は受けている。コンバージョンがあればまとめられるのだからチャンスを与える。十九時二〇分、久し振りにデューク・エリントン、コルトレーンのバラードを聴く。十九時三〇分中国の件で野村からレクチャーを受ける。